

# 「測量の日フェスティバル」に参加して

(株)南部測量設計

千葉 隆

6月13日(土)奥州市測友会(12社)主催一般社団法人岩手県測量設計業協会ならびに国土交通省国土地理院東北地方測量部の後援により、「6月3日 測量の日」を記念した「測量フェスティバル」が開催されました。会場は今年も、奥州市前沢区のイオン前沢店の御協力により、大駐車場の正面玄関側の一角で行われました。

午前9時には関係者40人余りが集合し、テントの設営、各コーナーの準備などを行いました。この会場を使用するのは9回目ということもあり、皆手慣れたものでした。あっという間に準備は終了しました。



東北地方測量部 部長・成田様挨拶

午前10時30分開会。開場早々に多数の来場者が訪れ幸先の良いスタートです。

コーナーは、

- 総合受付(記念品)
  - パネル展示コーナー・立体地図コーナー
  - 面積当てクイズコーナー
  - 測量に関する一般常識クイズコーナー
- の4つが設けられ各コーナー共に大賑わいを見せました

パネル展示コーナーでは、東日本大震災被災地域の航空写真(田老漁港・大船渡港・広田湾)や胆沢ダム管理施設の概要写真の展示が行われ、普段見慣れない写真や地図に興味が集まりました。また、東北地方の地形を立体的に再現した余色立体図では、3Dメガネを使用して浮き上がって見える地図の上を歩き、自分の暮らしている場所などを確認する参加者が多数いました。



パネル展示コーナー

面積当てクイズコーナーでは、地面にテープで作った三角形の面積を求めるクイズが行われました。辺の長さを自分の足の大きさを測る人、歩幅で測る人、目勘定で測る人、納得いくまで2度3度と計測し直す人など、それぞれの性格が垣間見えた楽しいコーナーでした。



面積当てクイズコーナー

## ■ 平成 27 年「測量の日」イベント紹介

測量に関する一般常識クイズコーナーでは、測量に関する一般的なクイズが行なわれました。小さな子供でも解ける問題や、大人でも少し戸惑う問題などを取り揃え、親子で一緒に考えている姿は微笑ましいものでした。



**測量に関する一般常識クイズコーナー**

距離当てクイズコーナーでは、実際に使用する測量機器が展示され、機器の使用方法等に関する説明が行われました。さらに実際に機器を覗き込んだりして触れることが出来たため積極的に機器を操作する参加者もいました。

また、歩幅を計り、それを頼りに会場敷地内のテープの長さを計る「歩測」と、ヒントとなる目印の距離を便りに目標までの距離を計る「目測」のクイズが行われました。参加者の中には、歩測・目測の距離と実際の距離の違いに首を傾げる人もいて歩測や目測の難しさを体感した様です。



**測量機器操作体験**



**距離当てクイズコーナー**

各クイズコーナーの参加者、正解者には豪華景品が贈られ、たくさんクイズに参加した来場者はビニール袋いっぱい景品を抱えとても満足した様子でした。

フェスティバルは来場者 450 人以上という大盛況に終わることが出来ました。

今年もまた、来場者の方々に「測量」という仕事を多少なりとも理解して頂けたものと思えます。フェスティバルに訪れた子供達が将来の仕事の選択肢の一つに加えてもらえたら嬉しいかぎりです。

最後になりますが、測量フェスティバルに後援いただきました一般社団法人岩手県測量設計業協会ならびに国土交通省国土地理院東北地方測量部及び関係機関各位の皆様へ心より感謝申し上げます。



**スタッフ一同**